

平成21年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員

平成21年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

第1 審査の概要

決算審査の対象は、病院事業庁が経営する平成21年度の病院事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行いました。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、事業の経営については、以下の審査意見のとおり留意又は改善を要するもののほかは、概ね適正に処理されているものと認められます。
(以下、説明上、金額は万円未満を切り捨てています。)

2 審査の意見

ア 県立病院改革について

県立病院改革については、平成 22 年 3 月に「県立病院改革に関する基本方針」が知事から示され、総合医療センターの特定地方独立行政法人化、志摩病院の指定管理者制度の導入に向けての手続きが今年度から進められています。

病院の運営形態の変更にあたっては、健康福祉部との業務分担を明確にし、患者や地域住民に対し十分な情報提供を行い、理解を得ながら着実に進めていただきたい。

また、現在病院に勤務している職員に不安を与えないよう配慮していただきたい。

さらに、運営形態の変更に向け、累積欠損金、過年度未収金、退職給与引当金等の財務の取り扱いについて、十分に検証し整理していただきたい。

イ 平成 21 年度決算と当面の病院運営について

平成 21 年度の病院事業会計の収益的収支は 10 億 1,750 万円の赤字（純損失）となり、前年度に比べ、3 億 2,624 万円収支は改善したものの、依然多額の赤字となっています。

経営が赤字基調の中、運転資金についても減少してきており、平成 21 年度末の現金預金残高は 2 億 3,752 万円となっています。病院事業庁では一般会計からの一時借入金により資金を確保しているところですが、一時借入金の額が年々増加し、経営状況は厳しいものとなっています。

平成 23 年度末までは、県営で各病院の運営を行っていく方針でありますことから、経営の改善及び県立病院としての役割、機能の充実に向け、当面の目標を設定し、収支の改善、資金の確保、患者サービスの向上に努めていただきたいと思います。

また、一志病院、こころの医療センター、県立病院経営室については、今後、県から示される平成 24 年度以降の組織体制に基づき、早期に新たな中期経営計画を策定していただきたいと思います。

なお、平成 21 年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりであります。

(1) 総合医療センター

収支は 3 億 8,461 万円の赤字（純損失）であります。前年度に比べ 1 億 4,743 万円、赤字額は減少しています。

平成 21 年度は安心して質の高い医療・看護を提供するため、7 対 1 看護基準を取得し、診療報酬上も効果があったこともあり、医業収益が前年度に比べ約 2 億 3,100 万円増加しています。

看護基準の安定維持のため、看護スタッフの確保及び定着に努めるとともに、平成 21 年度から導入している D P C（診断群分類包括評価）の適正な運用や経費削減により、収支の改善に引き続き取り組んでいただきたいと思います。

※ 7 対 1 看護基準＝7 人の入院患者に対し、1 人の看護師が看護にあたること。

D P C＝Diagnosis（診断）Procedure（診療行為）Combination（組合せ）の略。入院患者の診療報酬額について、従来の出来高払いではなく、疾病別に 1 日あたりの定額を包括的に支払う制度。

(2) こころの医療センター

収支は2億7,612万円の黒字（純利益）であり、前年度に比べ2億2,013万円、黒字額が増加しています。

平成21年度は精神科における救急・急性期医療充実のため、病棟の施設基準を再編し、診療報酬上も効果があったこともあり、医業収益が前年度に比べ約1億9,300万円増加しています。

施設基準の安定維持のため、医療スタッフの確保及び定着に努めるとともに、精神科救急患者への対応や、患者の社会復帰支援への取組等を引き続き進めていきたい。

※ 病棟施設基準の再編＝従来の精神一般病棟の一部を認知症治療病棟・急性期治療病棟に、また、従来の急性期治療病棟の一部を精神科救急病棟に再編した。

(3) 一志病院

収支は1,057万円の赤字（純損失）ではありますが、前年度に比べ6,213万円、赤字額は減少しています。

家庭医療の実践を開始した平成19年度から毎年度、患者数、医業収益が伸びており、取組の成果が地域に定着しつつあります。

家庭医療を行う医師（家庭医療医）の育成を図るとともに、訪問診療の充実など、地域の医療ニーズに引き続き対応していきたい。

※ 家庭医療＝性別、年齢を問わず、身近な病気を中心に、けがや心の悩み、病気の予防や介護なども含めて患者のケアを総合的に行う医療。

(4) 志摩病院

収支は 8 億 9,844 万円の赤字（純損失）であり、前年度に比べ 1 億 346 万円、赤字額が増加しています。

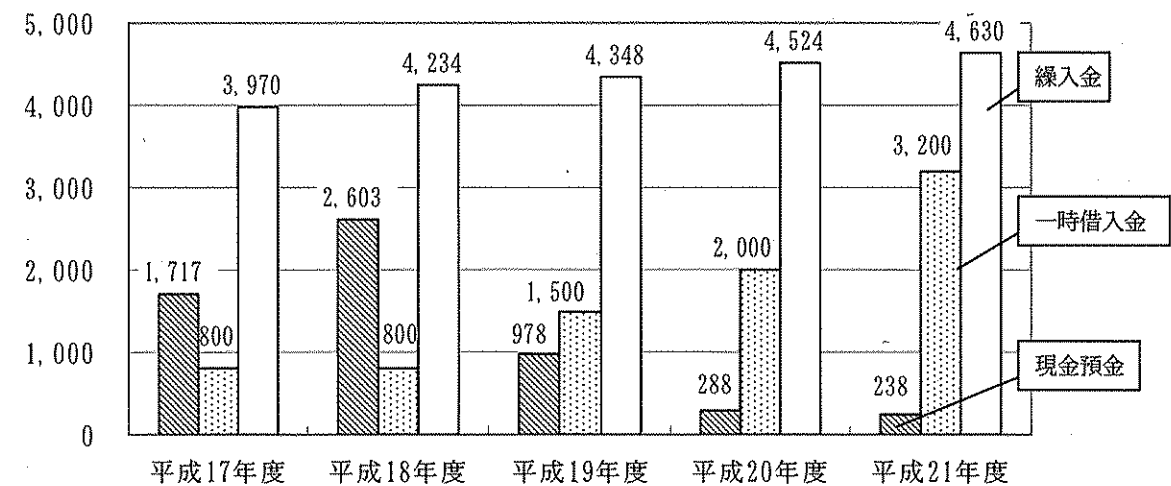
地域医師会等との連携や市民ボランティアによる院内活動など、地域医療の充実に向け努力しているところではありますが、医師不足による入院稼働病床数の減少、救急患者受入体制の縮小などが表面化していることから、健康福祉部と十分な連携を図りながら医師を確保し、診療体制を維持していただきたい。

収益的収支の状況

(単位：円)

病 院 名	平成21年度純損益 (A)	平成20年度純損益 (B)	増 減 (A) - (B)
総合医療センター	△ 384,610,669	△ 532,045,117	147,434,448
こころの医療センター	276,120,411	55,981,419	220,138,992
一 志 病 院	△ 10,571,007	△ 72,705,784	62,134,777
志 摩 病 院	△ 898,443,487	△ 794,978,039	△ 103,465,448
計	△ 1,017,504,752	△ 1,343,747,521	326,242,769

現金預金・一時借入金・繰入金の推移



ウ 未収金の回収と発生防止について

平成 21 年度末における診療費自己負担金の過年度収入未済額が、4 病院合計で 1 億 8,854 万円となっています。

未収金の回収については、電話、文書、訪問等による督促に加え、裁判所を通じての支払督促、弁護士法人への回収委託を行っており、平成 21 年度中に約 2,100 万円を回収しているところではありますが、引き続き回収に向けての取組を進めていただきたい。

また、平成 21 年度においては、約 2,700 万円の未収金が新たに発生しているため、早期の回収に努めるとともに、未収金発生防止に向けた取組を継続していただきたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：円)

病 院 名	平成21年度 A		平成20年度 B		増減 A-B	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合医療センター	573	122,702,199	620	138,274,367	△ 47	△ 15,572,168
こころの医療センター	175	35,039,953	153	32,633,652	22	2,406,301
一 志 病 院	12	887,483	7	846,753	5	40,730
志 摩 病 院	199	29,915,954	242	34,100,481	△ 43	△ 4,184,527
計	959	188,545,589	1,022	205,855,253	△ 63	△ 17,309,664

未収金増減の内訳

(単位：円)

病 院 名	新規発生	回収	会計上の減額処理	計
総合医療センター	11,618,129	△ 11,859,687	△ 15,330,610	△ 15,572,168
こころの医療センター	8,663,660	△ 4,381,119	△ 1,876,240	2,406,301
一 志 病 院	126,930	△ 86,200	0	40,730
志 摩 病 院	6,504,352	△ 4,727,251	△ 5,961,628	△ 4,184,527
計	26,913,071	△ 21,054,257	△ 23,168,478	△ 17,309,664

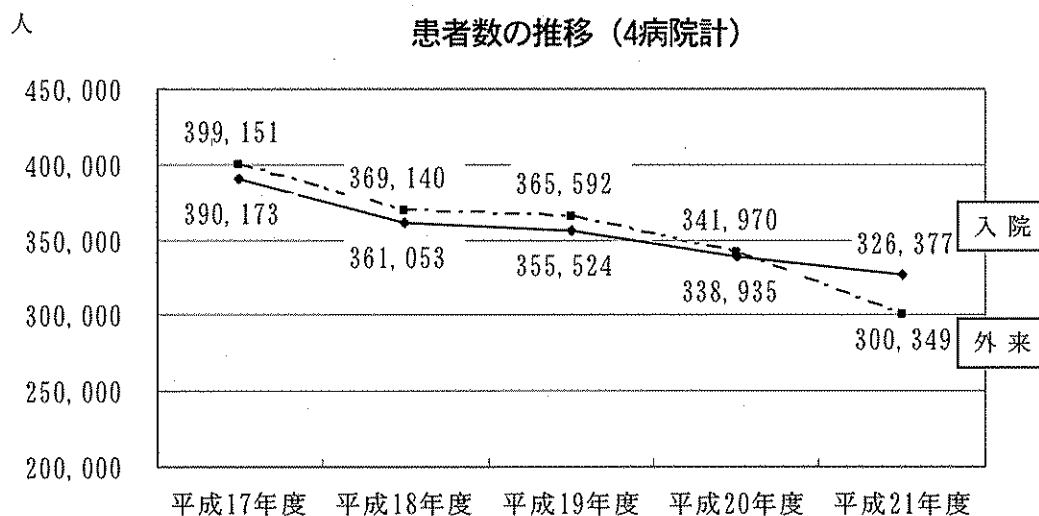
第3 経営の概要

1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院、志摩病院の4病院を経営しています。

4病院合計の許可病床数は1,286床ですが、平成21年度は、一般病床のうち総合医療センターで114床が、志摩病院で80床が一時休床となっています。また、一志病院では、療養病床44床が平成19年度から一時休床となっています。

平成21年度の延べ入院患者数は326,377人（1日平均894人）で、前年度に比べ12,558人減少し、延べ外来患者数は300,349人（1日平均1,241人）で、前年度に比べ41,621人減少しています。



2 経営成績

平成21年度の総収益は176億8,866万円であり、内訳は入院・外来収益等の医業収益が137億1,366万円、一般会計からの繰入金等の医業外収益が39億7,500万円となっています。収益は、医業外収益の増加により、前年度に比べ5,586万円増加しています。

総費用は187億617万円であり、内訳は給与費、経費等の医業費用が174億194万円、企業債支払利息等の医業外費用が11億6,932万円、退職給与引当金にかかる特別損失が1億3,490万円となっています。費用は、経費、減価償却費、支払利息の減少等により、前年度に比べ2億7,037万円減少しています。

この結果、純損益は10億1,750万円の赤字となりましたが、前年度に比べ3億2,624万円、赤字額は減少しています。

また、純損益から特別損失を除いた経常損益は、8億8,260万円の赤字であり、前年度に比べ1億9,017万円、赤字額は減少しています。

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科 目	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	増減 (A) - (B)
総収益	17,688,665,507	17,632,798,859	55,866,648
医業収益	13,713,662,627	13,744,485,244	△ 30,822,617
医業外収益	3,975,002,880	3,888,313,615	86,689,265
総費用	18,706,170,259	18,976,546,380	△ 270,376,121
医業費用	17,401,945,805	17,472,815,731	△ 70,869,926
医業外費用	1,169,320,454	1,232,757,649	△ 63,437,195
特別損失	134,904,000	270,973,000	△ 136,069,000
経常損益	△ 882,600,752	△ 1,072,774,521	190,173,769
純損益	△ 1,017,504,752	△ 1,343,747,521	326,242,769

3 一般会計繰入金の状況

平成21年度の医業外収益の繰入金は37億4,429万円であり、医師・看護師等の人材育成に要する経費、職員の公的基礎年金拠出金に要する経費等に対する繰入金の増により、前年度に比べ2,447万円増加しています。

資本的収入の繰入金は、8億8,528万円であり、建設改良に要する経費に対する繰入金の増により、前年度に比べ8,118万円増加しています。

繰入金の内訳

(単位：円)

項 目		平成21年度(A)	平成20年度(B)	増減(A) - (B)
総 合 医 療 セ ン タ ー	医業外収益	1,546,603,488	1,504,282,000	42,321,488
	資本的収入	468,025,000	426,758,000	41,267,000
	計	2,014,628,488	1,931,040,000	83,588,488
こ ころ の 医 療 セ ン タ ー	医業外収益	984,874,000	984,444,000	430,000
	資本的収入	181,886,000	179,182,000	2,704,000
	計	1,166,760,000	1,163,626,000	3,134,000
一 志 病 院	医業外収益	309,511,950	297,641,000	11,870,950
	資本的収入	55,114,000	55,929,000	△ 815,000
	計	364,625,950	353,570,000	11,055,950
志 摩 病 院	医業外収益	752,647,000	791,599,000	△ 38,952,000
	資本的収入	180,255,000	142,224,000	38,031,000
	計	932,902,000	933,823,000	△ 921,000
県立病院経営室	医業外収益	150,655,000	141,850,000	8,805,000
	資本的収入	0	0	0
	計	150,655,000	141,850,000	8,805,000
合 計	医業外収益	3,744,291,438	3,719,816,000	24,475,438
	資本的収入	885,280,000	804,093,000	81,187,000
	計	4,629,571,438	4,523,909,000	105,662,438

※ 医業外収益＝人材育成、救急医療の確保、高度医療に要する経費等に対する繰入金
資本的収入＝建設改良に要する経費（企業債償還金）に対する繰入金

第4 病院別の状況

1 総合医療センター

(1) 患者数の状況

平成21年度の延べ入院患者数は102,564人（1日平均281人）であり、前年度に比べ5,282人減少しています。延べ外来患者数は141,164人（1日平均583人）であり、前年度に比べ10,204人減少しています。

(2) 経営成績

平成21年度の総収益は92億5,096万円であり、7対1看護基準の取得や外来における化学療法取扱件数の増加等により、前年度に比べ2億6,224万円増加しています。

総費用は96億3,557万円であり、給与費、診療材料費の増加等により、前年度に比べ1億1,480万円増加しています。

総収支は3億8,461万円の純損失となりましたが、前年度に比べ1億4,743万円収支は改善しています。

2 こころの医療センター

(1) 患者数の状況

平成21年度の延べ入院患者数は122,468人（1日平均336人）であり、前年度に比べ2,449人増加しています。延べ外来患者数は56,551人（1日平均234人）であり、前年度に比べ3,514人増加しています。

(2) 経営成績

平成21年度の総収益は33億1,298万円であり、救急・急性期医療の充実に伴う入院収益の増加等により、前年度に比べ1億9,910万円増加しています。

総費用は30億3,686万円であり、給与費、減価償却費、支払利息の減少等により、前年度に比べ2,103万円減少しています。

総収支は2億7,612万円の純利益となり、前年度に比べ2億2,013万円純利益が増加しています。

3 一志病院

(1) 患者数の状況

平成21年度の延べ入院患者数は11,552人(1日平均32人)であり、前年度に比べ339人増加しています。延べ外来患者数は20,178人(1日平均83人)であり、前年度に比べ792人増加しています。

(2) 経営成績

平成21年度の総収益は7億8,216万円であり、患者数の増加及び一般会計繰入金の増加等により、前年度に比べ2,513万円増加しています。

総費用は7億9,273万円であり、経費、支払利息の減少等により、前年度に比べ3,699万円減少しています。

総収支は1,057万円の純損失となりましたが、前年度に比べ6,213万円収支は改善しています。

4 志摩病院

(1) 患者数の状況

平成21年度の延べ入院患者数は89,793人(1日平均246人)であり、前年度に比べ10,064人減少しています。延べ外来患者数は82,456人(1日平均341人)であり、前年度に比べ35,723人減少しています。

(2) 経営成績

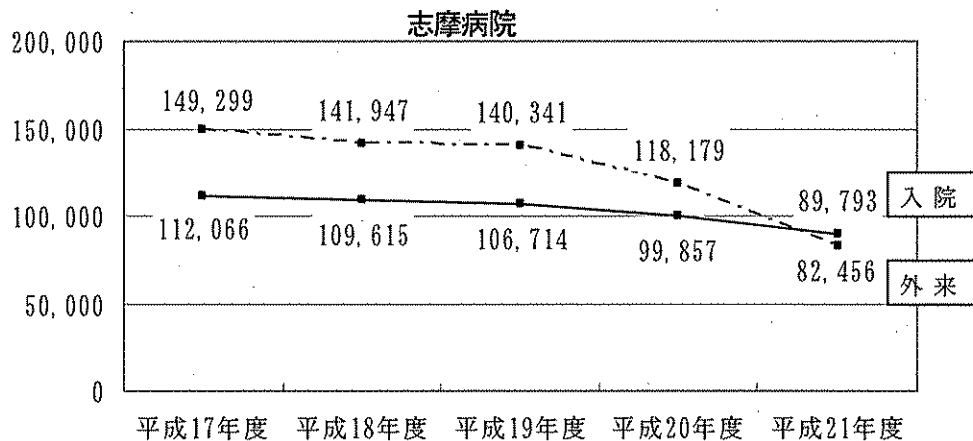
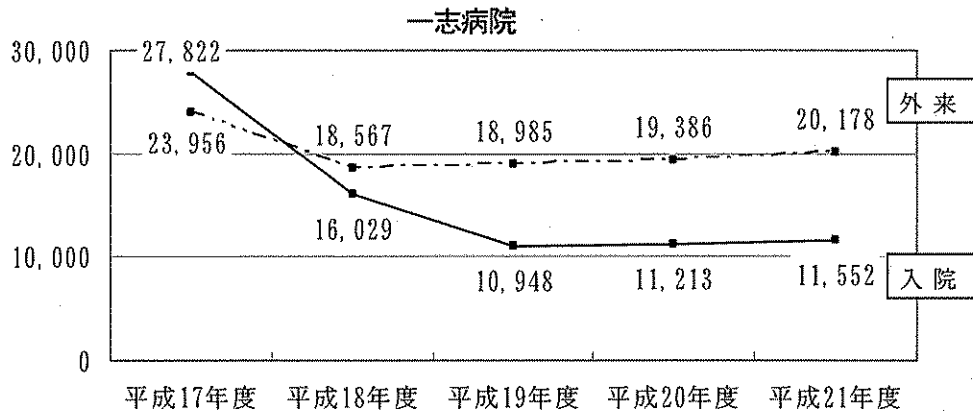
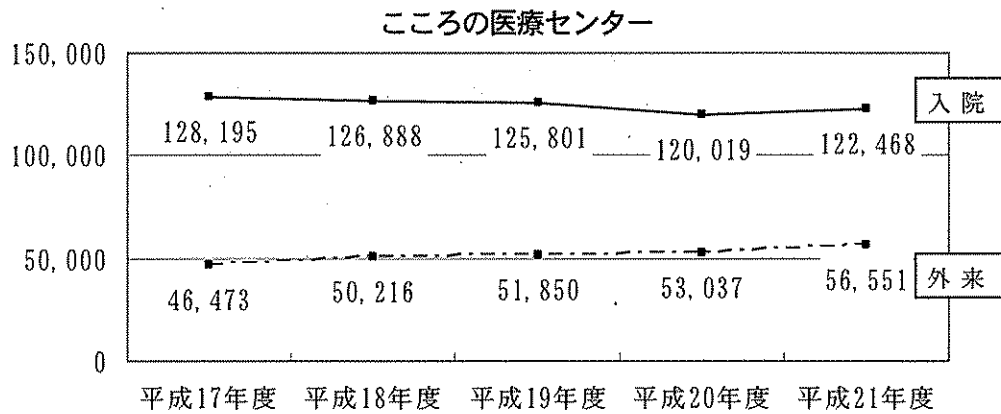
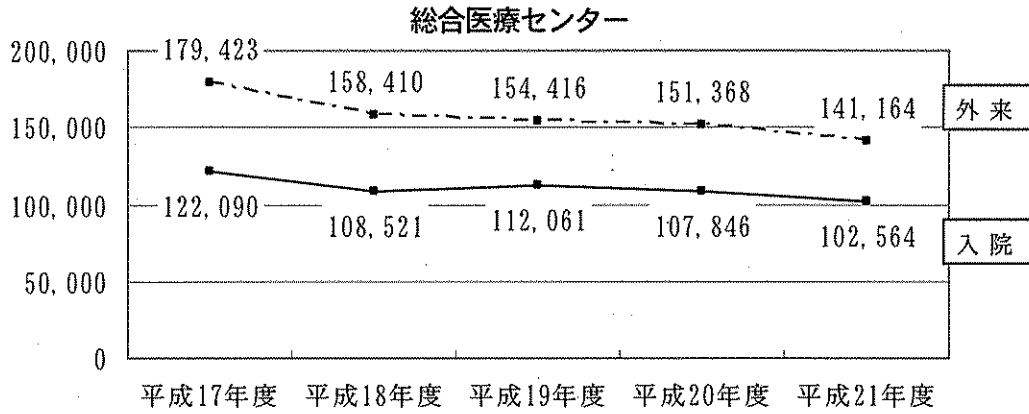
平成21年度の総収益は41億7,473万円であり、患者数の減少等により、前年度に比べ4億3,537万円減少しています。

総費用は50億7,318万円であり、給与費、材料費、支払利息の減少等により、前年度に比べ3億3,190万円減少しています。

総収支は8億9,844万円の純損失となり、前年度に比べ1億346万円収支は悪化しています。

(参考)

患者数の推移 (単位:人)



総収益と総費用の推移（単位：百万円）

